

施策：	09 健康づくりの推進	財務コード	01040101-05-00
基本事業：	03 健康を支える環境の整備	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	健康づくりサポーターの年間活動回数 健康づくりサポーター（食生活）の充足率 健康づくりサポーター（運動）の充足率 救急医療で対応している科目数	担当課	健康推進課
		担当係	健康企画担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成18年度 ~	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
市民		休日等における歯科救急患者に適切な医療を提供することを目的に筑紫地区5市で筑紫歯科医師会に補助金を拠出し、急患歯科診療所を開設する。 場所：春日市春日原北町（筑紫歯科医師会館内） 開館日時：全日曜日・祝日・盆（8月13日～15日） 年未年始（12月30日～1月3日） 診療時間：9：00～16：00 周知方法：健康カレンダー、広報ちくしの（月2回）				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
筑紫地区内に休日の急患に対応できる歯科診療所を確保する。						

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	29年度実績	30年度実績	01年度当初	02年度要求	03年度計画	04年度計画	目標
診療所で受診した人の延べ数（筑紫野市のみ）	人	61	86	80	90			110

5. コスト								
事業費	計	千円	689	690	690	690		
	国	千円	0		0	0		
	県	千円	0		0	0		
	地方債	千円	0		0	0		
	その他	千円	0		0	0		
一般	千円	689	690	690	690			
正職員人工数	人工	0.1	0.1	0.2				
正職員人件費	千円	800	809	1,613				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	1,489	1,499	2,303	690			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）								
あがっている	<p><現状> 受診者はH27年度より減少傾向にあったが、29年度より25人増え、86人となっている。</p> <p><原因> 近年、受診者数があまり伸びてない要因として、本市から当該診療所は遠方に位置しているため、本市の歯科医院のうち、日曜に開院している箇所があるため等が考えられる。なお、H30年度は前年度と比較して、筑紫地区全体で134人増え、582人となっている。</p> <p><課題> 今後も、救急時の受診先として周知をより一層強化する必要がある。</p>							
どちらかといえばあがっている								
あがっていない（停滞・低下）								

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）								
対象動向	維持	類似事業	あり					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし					
公的関与	妥当性が低い	受益者負担	余地なし					
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり					
成果向上余地	小さい							

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）								

<p>・ポスター等による周知を強化する。</p> <p>・本市の調査において、日祭日の歯科医院の開院状況は、市内49歯科医院中4医院であるが、ほぼ原則予約者の診療を優先している。特に、盆・年未年始期間中は、この歯科医院は休診している状況。このことから地域の歯科救急医療を確保するため、今後も休日急患診療所の運営を継続する必要がある。</p>								
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				備考・特記事項 or 進行管理欄				
平成18年4月から休日の急患に対応できる歯科診療所を確保するために筑紫地区5市共同で開始した事業である。								